



1 令和3年度 穂波東校9年間プラン

(1) 「9年間を見通した・・・」

昨日の「9年間プラン」の小中合同職員会議では、お疲れ様でした。昨日も同じことをお伝えしましたが、小中一貫教育では「9年間を見通した・・・」というフレーズを何度となく耳にします。しかしながら、突き詰めて考えると、「9年間を見通す」ということは本当に難しいものです

(2) 「9年間プラン」の意義

「9年間プラン」では、義務教育9年間で前期・中期・後期の3つに区分します。これにより、「9年間を見通す」ということが、少し容易になります。穂波東校の「9年間プラン」では、知・徳・体の3つの柱で、子どもたちの9年間の学びと育ちをホップ・ステップ・ジャンプといった具合に3段階で捉え、表現するようにしてきました。

(3) これまでの「9年間プラン」

これまでの穂波東校の「9年間プラン」では、前期・中期・後期の連続性を重視してきました。言い換えると、「9年間プラン」の左から右への「横方向」の流れが、ホップ・ステップ・ジャンプといった具合になっているかに力点を置いてきました。一方、「9年間プラン」の「縦方向」の目標・取組・課題の整合性においては、更なる検討が必要でした。

(4) 令和3年度版「9年間プラン」

本年度の「9年間プラン」では、これまで以上に、目標・取組・課題の整合性を意識しました。つまり、「横方向」からも「縦方向」からもこれまで以上に繋がったものが、令和3年度版「9年間プラン」です。

(5) 先生方へのお願い

本年度の「9年間プラン」を更に練り上げたいと考えています。そこで、近日中の学年会や運営委員会等で「9年間プラン」について論議する時間を設けて下さい。そして、そこで出されたご意見等はぜひ経営部にお知らせ下さい。頂いたご意見等を基に、経営部会で最終決定版を作成したいと思えます。

2 タブレット端末の活用

穂波東校では、小学部の右田先生、梶原先生、中学部の藤田先生、切通先生が中心となり、組織的・計画的にタブレット端末の使用法等についての授業を行っています。児童生徒たちは、タブレット端末にすぐに慣れ、覚えも早く、授業を重ねる毎にスキルを向上させています。例えば、5年生以上（中期・後期）の児童生徒は、現段階でほとんどが自分一人で次のような操作ができるようになりました。

- グーグル Googleへログインし、検索機能検索機能を使って、調べ学習をする。
- 「Google Classroom Google Classroom」等の「Google for Education Google for Education」の様々な教育用アプリの基本的操作を行う。
- 「タブレットドリル タブレットドリル」を使用する。



タブレット端末の操作方法について学習する生徒たち

穂波東校では、各先生方のご努力のお陰で「タブレット端末のスキル習得」において、第一段階の目標を達成したものと考えます。

今後は他の学校での事例等を参考にしながら、更に活用方法の充実を図りたいと思えます。